

世界史 B

(解答番号 1 ~ 32)1

次の文章と図版に関連して、問1～問2に答えよ。

高校生の三浦さんは、鎌倉大仏の歴史について調べて次のパネルにまとめ、授業で発表した。

<p>鎌倉大仏(高徳院)</p> <p>造立 13世紀半ば。大仏造立の経緯や寺院の開基、像の制作者など詳しいことはわかっていない。</p> <p>素材 A でつくられており、素材として中国 銭(宋銭)も使用されたことが判明している。</p>	<p>写真</p>
---	-----------

安達さん： 素材に宋銭が使われているとは、どういうことですか。

三浦さん： 輸入された宋銭は、貨幣としてではなく、Aという金属として、溶かされて材料に使用されました。

安達さん： 銀が単なる金属として扱われるなんて、驚きました。経済や貿易と宗教事業は、いろいろな関係のしかたがあるのですね。

三浦さん： 鎌倉大仏が造立された当時の世界では、Bように、どの地域でも宗教と社会は複雑な動きをしていました。

安達さん： それにしても、なぜ宋銭は金属素材として扱われるほど日本に入ってきたのですか。

三浦さん： 当時の中国では紙幣が流通したので、余った銀が輸出されるようになっていたからです。でも、本来中国では、通貨として用いる金属の量が十分ではなかったので、時代や地域によっては、逆に輸入することもありました。一部の地域では、清代に^(a)日本の寛永通宝が輸入されて、貨幣として流通していたそうです。

問 1 A に当てはまる語句と、 B に当てはまる文との組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 1 。

(B)

	A	B
①	銀	サファヴィー朝が、シーア派を国教とした
②	銀	ローマ教皇のよびかけで始まった十字軍の遠征が行われていた
③	銅	サファヴィー朝が、シーア派を国教とした
④	銅	ローマ教皇のよびかけで始まった十字軍の遠征が行われていた

問 2 下線部分清代に日本の寛永通宝が輸入されて、貨幣として流通していたとあるが、^(a) 当時の日本の貨幣はどのようにして輸入されたと考えられるか。考えられる事柄について述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 2 。

- ① 改革開放政策によって貿易が拡大し、輸入されるようになったと考えられる。
- ② 中国に派遣された朝貢使節が、金印を授かる代わりに献上したと考えられる。
- ③ 江戸幕府が管理する長崎との間の貿易を通じて輸入されたと考えられる。
- ④ 室町幕府との間の勘合貿易によって輸入されたと考えられる。

2

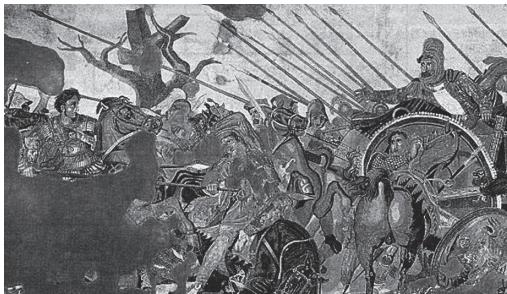
1～2の文章と図版に関連して、問1～問8に答えよ。

1 高校生の鈴木さんは、旅行ガイドブックに載っていた世界遺産について、興味を持った2か所について調べ、次の資料1・資料2にまとめた。

資料1 ポンペイ

イタリアのポンペイは、ウェスヴィウス火山の噴火で、街全体が火山灰の下に埋もれてしまったローマ時代の都市です。発掘調査によって、長年地中深くに埋もれていた個人の住宅や、神殿、浴場、闘技場などの公共施設が出現し、当時の豊かな都市生活が浮かび上りました。貴重な考古学遺産として、ポンペイは世界遺産に登録されています。邸宅「ファウノの家」から出土したのが、傑作として知られるアレクサンドロス大王^(a)のモザイク画(右下の写真、部分)です。

写真



資料2 アンコール＝ワット

カンボジアのアンコール＝ワットは、世界遺産に登録されているアンコール遺跡群の中で、最大の規模を誇る寺院です。12世紀^(b)にアンコール朝の王スールヤヴァルマン2世(右下の写真、寺院内のレリーフ)によって、30年以上の歳月を費やして建設されました。本来は、ヴィシヌ神をまつる[A]の寺院でしたが、後に仏教寺院となっています。見どころは、回廊に彫り込まれた、古代インドの叙事詩『マハーバーラタ』『ラーマーヤナ』などを題材にしたレリーフの数々です。



写真

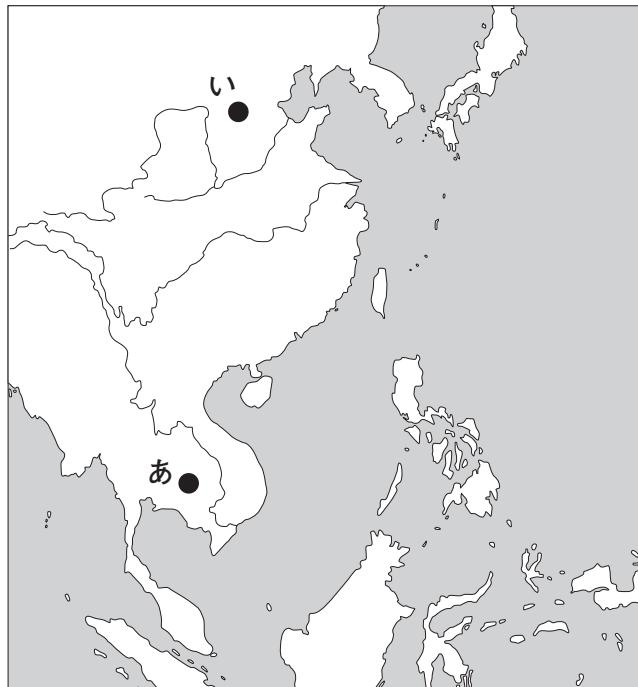
問 1 資料1のポンペイは、紀元1世紀の火山噴火によって埋もれてしまったが、噴火当時のローマ帝国のようすについて述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 「パクス＝ロマーナ」とよばれる繁栄の時代を迎えていた。(B)
- ② 「諸国民の春」とよばれる状況が生まれた。
- ③ 三圃制の普及により、農業生産力が増大した。
- ④ 工場法が制定され、労働者の生活の改善が目指された。

問 2 下線部分アレクサンドロス大王の東方遠征を契機としておこった、文化史上の変化について述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① ルネサンスとよばれる文化運動がおこった。
- ② 大量消費社会が到来し、新たな大衆文化が生み出された。
- ③ 諸子百家とよばれる様々な学派や思想家が活躍した。
- ④ ギリシア文化とオリエント文化が融合したヘレニズム文化が生まれた。

問 3 資料 2 のアンコール＝ワットの略地図中のおよその位置と、A に当てはまる語句との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は5。



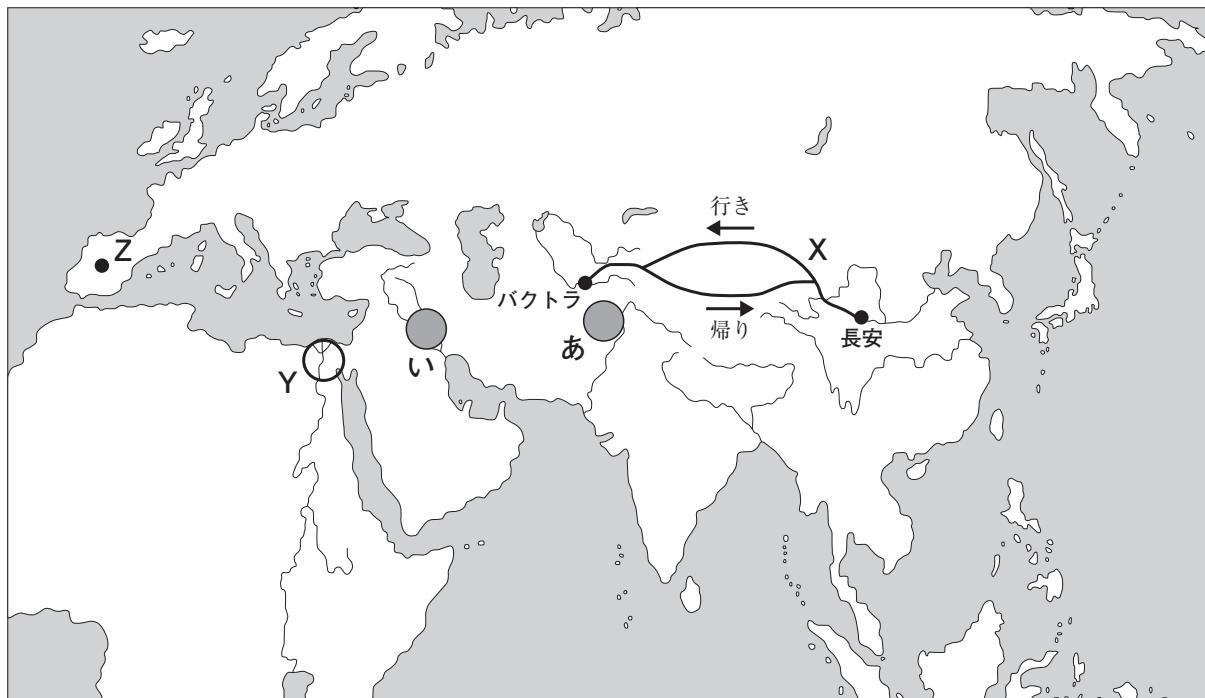
	位 置	A
①	あ	イスラーム教
②	あ	ヒンドゥー教
③	い	イスラーム教
④	い	ヒンドゥー教

問 4 下線部分 12世紀^(b)の東アジアのようすについて述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は6。

- ① アッシャリアが、オリエントを統一した。
- ② 金が、北宋を滅ぼした。
- ③ 日露戦争がおこった。
- ④ タンジマート(恩恵改革)が行われた。

2 高校生の深田さんのクラスでは、ユーラシア大陸・アフリカ大陸の交流の歴史について、班別学習を行った。次の地図は、各班の発表に際して、共通して用いたものである。

B



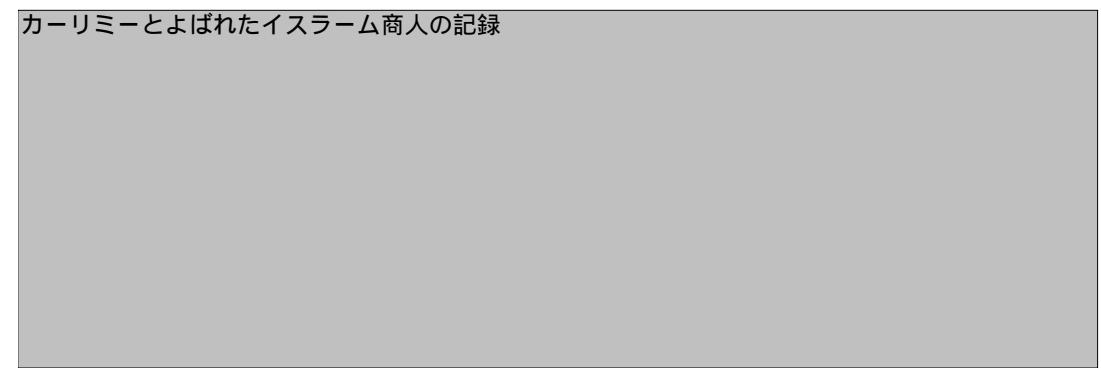
問 5 深田さんの班は、前漢時代に西域に派遣された張騫について調べた。地図中Xは、張騫のおよその行路を示している。張騫の派遣についての生徒の説明として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 7 。

- ① 派遣の目的は、大月氏と同盟を結ぶためだった。
- ② 派遣を命令したのは、前漢の武帝であった。
- ③ 派遣された当時、西域を支配していたのはモンゴル帝国だった。
- ④ 派遣によって、西域のようすが伝えられた。

問 6 高橋さんの班は、大乗仏教について調べた。大乗仏教の美術が栄えたガンダーラ地方の地図中のおよその位置と、大乗仏教について説明した文との組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 8 。

	位 置	大乗仏教について説明した文
①	あ	中央アジアから中国、朝鮮半島、日本などへ広まった。
②	あ	三位一体説を正統教義とした。
③	い	中央アジアから中国、朝鮮半島、日本などへ広まった。
④	い	三位一体説を正統教義とした。

問 7 手島さんの班は、イスラーム商人の活動について調べた。次の資料は、地図中Yのエジプトを根拠地にして活躍したカーリミーとよばれたイスラーム商人の記録である。この商人が扱ったと考えられる商品と、当時エジプトを支配していた王朝との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 9。



	商 品	エジプトを支配していた王朝
①	アメリカ大陸のタバコ	マムルーク朝
②	アメリカ大陸のタバコ	カロリング朝
③	中国の陶磁器	マムルーク朝
④	中国の陶磁器	カロリング朝

問 8 松本さんの班は、ヨーロッパ文化とイスラーム文化が共存した地図中Zのトレドについて調べた。次の文章は、松本さんの班の発表原稿である。文章中の B に当てはまる語句を、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 10。

スペインのトレドは、かつては西ゴート王国の首都でしたが、8世紀からイスラーム勢力の支配下におかれました。11世紀のカスティリヤ王国による再征服の後も、イスラーム教徒・キリスト教徒・ユダヤ教徒が共存していました。その結果、トレドでは、哲学や医学、数学などの多くのアラビア語の文献が B に翻訳され、西ヨーロッパの学問の発展に大きな影響を与えることになりました。

- ① ペルシア語
- ③ サンスクリット語

- ② ロシア語
- ④ ラテン語

(B)

3

1～2の文章と図版に関連して、問1～問5に答えよ。

1 生徒と先生が、図1を見ながら会話している。

先生： この絵を見て、気づいたことをあげて下さい。

生徒： 服装や、手に持っている扇、背景の漢字から、中国の光景のように見えます。十字架があるので、2人はキリスト教徒かもしれません。

先生： よく気づきましたね。左の人物は、^(a)16世紀末に中国を訪れた、マテオ＝リッチというイエズス会の宣教師です。右は明の官僚の徐光啓で、キリスト教に改宗していました。

生徒： 左の人物は西洋人だったのですね。中国風の服を着ていたのでわかりませんでした。

先生： この頃のヨーロッパはどういう時代だったか、覚えてていますか。

生徒： 宗教改革の影響で、宗派対立が激しかった頃です。イエズス会は、A側の修道会ですよね。

先生： その通りです。マテオ＝リッチは、入国前に中国語を学んだり、儒教の儀礼を行うことを信者に認めたりしながら、Aの教えを広めようと努力しました。

生徒： 彼はBという方針で布教したのですね。この服装の意味がわかりました。



図1

問 1 下線部分 16世紀 におこった出来事について述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **11**。

- ① 玄奘が、インドを訪れた。
- ② ペリーが、日本に来航した。
- ③ マゼランの部下が、世界周航を達成した。
- ④ ニクソンが、中国を訪問した。

(B)

問 2 **A** に当てはまる語句と、**B** に当てはまる文との組合せとして適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **12**。

	A	B
①	カトリック	自分の宗教の原理や原則を堅持する
②	カトリック	中国の文化や風習を尊重する
③	プロテスタント	自分の宗教の原理や原則を堅持する
④	プロテスタント	中国の文化や風習を尊重する

2 生徒と先生が、図2を見ながら会話している。

生徒： この建物はドイツにあるとのことですが、不思議な雰囲気ですね。

先生： プロイセンのフリードリヒ2世が、宮殿の近くに建てた中国風の茶館です。

生徒： 七年戦争の印象が強い王ですが、風流な趣味を持っていたのですね。中国に関心があつたというのも意外です。

先生： 17世紀後半から18世紀のヨーロッパ諸国では、茶が流行し、美術や建築にも中国の影響があらわれました。このような中国趣味を、シノワズリといいます。

生徒： 中国に行ったイエズス会士は、こうした動きに影響を与えたのですか。

先生： そうです。イエズス会は、中国に関する膨大な報告書を残しています。この情報は、ヨーロッパの各方面に反響をよびました。中国的官吏登用制度を称賛し、ヨーロッパの身分制度を批判した思想家もいるのですよ。

生徒： 中国の情報が、自分たちの社会を見直す契機となったのですね。

写真

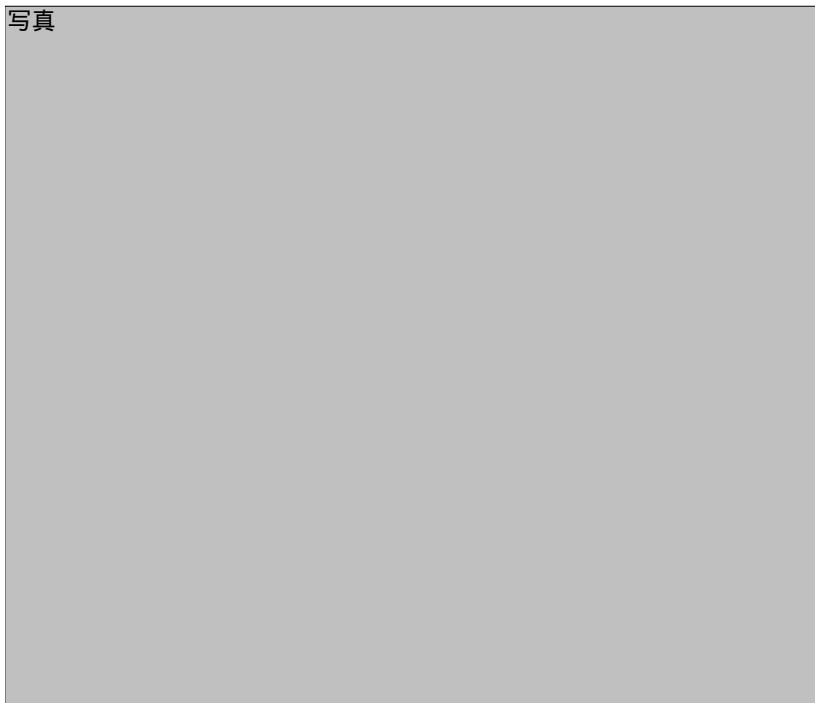


図2

問3 下線部分七年戦争について述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 13。

- ① タリバーン政権が崩壊した。
- ② 日本が台湾を獲得した。
- ③ カルタゴが滅んだ。
- ④ シュレジエンの領有をめぐって戦われた。

問 4 下線部分 17世紀後半から18世紀のヨーロッパ諸国が、アジアで行った経済活動について
 (c) 述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **14**。

- ① ラティフィンディアを経営し、果樹を栽培した。
- ② 東インド会社を通じ、綿織物を輸入した。
- ③ 隊商交易により、サハラ砂漠の岩塩を輸出した。
- ④ 石油輸出国機構(OPEC)を結成し、原油価格を統制した。

(B)

問 5 下線部分 中国の官吏登用制度を称賛し、ヨーロッパの身分制度を批判した思想家について
 (d) これと関連する中国の官吏登用制度と、社会の非合理性を批判した西洋の思想との組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **15**。

	中国の官吏登用制度	西洋の思想
①	科 槍	啓蒙思想
②	科 槍	陽明学
③	兩税法	啓蒙思想
④	兩税法	陽明学

4

1～2の文章と図版に関連して、問1～問4に答えよ。

1 18世紀後半からヨーロッパでおこった革命の波は、ラテンアメリカにも及び、19世紀前半にはヨーロッパ諸国の支配から独立する国が現れた。ラテンアメリカ諸国がスペインから独立する際に中心的役割を果たしたシモン＝ボリバルは、ベネズエラのカラカスで裕福な家庭に生まれた。フランス革命^(a)がおこった後のヨーロッパを訪れ、スペインで教育を受けたボリバルは、1804年にもフランスやイタリアを回り、その後帰国して独立運動に身を投じた。ラテンアメリカ諸国の独立運動の多くは、彼のような **A** が指導した。彼は、独立後のラテンアメリカはアメリカ合衆国のような統一的な連邦国家になるべきであるという考えを持っていたが、その理想は挫折した。



シモン＝ボリバル

問1 下線部分フランス革命について述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **16** 。

- ① パフレヴィー朝が倒された。
- ② シベリア出兵が行われた。
- ③ 第2インターナショナルが結成された。
- ④ バステイユ牢獄が襲撃された。

問2 **A** に当てはまる語句を、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **17** 。

- | | |
|-------------|-------------|
| ① 植民地生まれの白人 | ② 白人と先住民の混血 |
| ③ 黒人奴隸 | ④ 先住民 |

2 高校生の乾さんは、伊藤博文の海外渡航について調べ、次のカード1・カード2を作成した。

カード1



日本の初代首相として知られる伊藤博文は、たびたび海外へ渡航し、政治制度についての調査や、外国の要人との面会を行った。1872年、岩倉遣欧使節団に参加した際、条約改正の交渉のため、全権委任状を取りにアメリカ合衆国から日本へ戻ったこともある。
 憲法調査のためヨーロッパに滞在中の1883年には、ドイツ帝国宰相の **B** と面会し、条約改正について話し合った。

(B)

カード2



韓国統監であった伊藤博文は、1907年、韓國皇太子李垠りぎんを伴って朝鮮半島の漢城から帰国した。李垠を日本へ留学させるためであつた。その後、彼は統監を退任した1909年に大連、旅順、長春を訪れ、ロシア蔵相との会見のために訪れたハルビンで暗殺された。

問3 下線部分アメリカ合衆国の19世紀のようすと、**B**に当てはまる人物との組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **18**。

	アメリカ合衆国の19世紀のようす	B
①	南北戦争がおこった。	ミドハト＝パシヤ
②	南北戦争がおこった。	ビスマルク
③	ベトナム戦争に対する反対運動がおこった。	ミドハト＝パシヤ
④	ベトナム戦争に対する反対運動がおこった。	ビスマルク

問4 下線部分朝鮮半島の20世紀のようすについて述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **19**。

- ① ロシアが、パン＝スラヴ主義を掲げて進出した。
- ② 王建が、高麗を建てた。
- ③ 韓国併合が行われた。
- ④ ゲルマン人が、移動を開始した。

5

1～2の文章と図版に関連して、問1～問6に答えよ。

1 図1の人物は近代看護制度を創始した **A** である。 **A** _(a) はクリミア戦争で看護活動に従事後、看護に関する多くの著書を出版した。ヨーロッパだけでなく、インド_(b) の病院における看護についての報告書も残した。また、イギリス_(c) に最初の看護学校を創立し、専門的な知識と技術を身につけた看護婦を養成した。このようにして、看護は女性の職業として確立した。
 19世紀後半以降、イギリスが行う数々の戦争を通して、男性が主体となった戦争の中でも、
 看護の分野に女性が進出していった。



図1

問1 **A** に当てはまる人物と、下線部分クリミア戦争の説明との組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **20** 。

	A	説明
①	アウン＝サン＝スー＝チー	ロシアの南下政策が後退した。
②	アウン＝サン＝スー＝チー	大陸封鎖令が発布された。
③	ナイティンゲール	ロシアの南下政策が後退した。
④	ナイティンゲール	大陸封鎖令が発布された。

問 2 下線部分インドにおける出来事について述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **21**。

- ① シバーヒー(セポイ)が、反乱をおこした。
- ② 西安事件がおこった。
- ③ ハンムラビ法典が制定された。
- ④ パナマ運河が建設された。

(B)

問 3 下線部分イギリスが進出した後の南アフリカのようすについて述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **22**。

- ① アパルトヘイトが行われた。
- ② 新経済政策(ネップ)が行われた。
- ③ タバコ＝ボイコット運動が行われた。
- ④ ドンズー(東遊)運動が行われた。

問 4 下線部分19世紀後半におこった出来事を、次の①～④のうちから一つ選べ。
解答番号は **23**。

- ① ピカソが「ゲルニカ」を描いた。
- ② オクスブルクの宗教和議が結ばれた。
- ③ 鄭和の遠征が行われた。
- ④ ドレフュス事件がおこった。

2 ソ連では第二次世界大戦中、兵士として武器を持って戦う女性兵士が出現した。図2は爆撃機のパイロットとして活躍した女性航空隊員である。ソ連では、「女は銃後、男は前線」という考えにとらわれず、多くの女性兵士が動員された。1943年には、女性兵士の数は、医療などの後方支援を含めて80万人から100万人にのぼり、ソ連兵士全体の8%を占めた。また、爆撃機のパイロット以外にも機関銃兵、戦車兵、砲兵など男性と対等な兵士として戦った。やがて、攻勢に転じたソ連軍は、ベルリンを占領した。その後、連合国はドイツを降伏させた。

(f)



図2

問5 下線部分第二次世界大戦終結以前のアメリカ合衆国における出来事について述べた次の(e)～(u)を、古いものから順に正しく並べたものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は 24 。

- (ア) 十四カ条の平和原則を示した。
- (イ) 株価の大暴落から世界恐慌が始まった。
- (ウ) 大西洋憲章が発表された。

① (ア)→(イ)→(ウ)

② (イ)→(ウ)→(ア)

③ (ウ)→(ア)→(イ)

④ (ウ)→(イ)→(ア)

問6 下線部分ドイツを降伏させた後に行われた、ドイツの戦後処理と日本の降伏についての話し合いを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 25 。

① トリエント公会議

② ミュンヘン会談

③ アジア＝アフリカ会議(バンドン会議)

④ ポツダム会談

(B)

6

1～2の文章と図版に関連して、問1～問5に答えよ。

1 生徒と先生が、資料を見ながら会話している。

先生： 資料は、1977年6月9日の、ある新聞に掲載された4コママンガです。ご飯の真ん中に梅干しがあるのが日の丸ベントウといわれるゆえんですが、2人のおかずが異なっていますね。

生徒： 女性のおかずはシャケ(サケ)の塩焼き、男性はイワシですね。

先生： 男性は、女性の弁当を「それは、日ソベントウです。」と言って、純粋な日の丸ベントウであることを否定しています。なぜだか、わかりますか。

生徒： シャケとイワシが関係しているんですね。

先生： そうです。シャケはどちらかというと冷たい海域に生息していますね。日ソの間に是、第二次世界大戦の終結時からシャケの漁場も含まれる、いわゆる **A** の帰属問題がありました。それは、現在でも解決されていません。

生徒： ソ連という国は、今は存在していないですね。

先生： 1985年にソ連共産党の書記長に就任した(a)ゴルバチョフは改革を行おうとしましたが、連邦崩壊の流れを止められず、(b)1991年にソ連は解体され、日ソの問題はロシアに引き継がれていきます。

4コマ漫画



資料

問1 **A** に当てはまる語句として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は **26**。

- | | |
|--------|-------|
| ① 満州 | ② 竹島 |
| ③ 北方領土 | ④ 山東省 |

問 2 下線部分ゴルバチョフが行った政策について述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 27。

- ① 農奴解放令を発布した。
- ② ドゥーマとよばれる国会の開設を約束した。
- ③ 景気の回復を図るニューディールを開始した。
- ④ 政治や経済の立て直しを図るペレストロイカを推進した。

(B)

問 3 下線部分1991年以降におこった出来事を説明した文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 28。

- ① 日本が、サンフランシスコ平和条約を結んで独立を回復した。
- ② イギリスとフランスとの間に、ファショダ事件が発生した。
- ③ ヨーロッパ連合(EU)が、共通の通貨ユーロを導入した。
- ④ イギリスで、マグナ＝カルタ(大憲章)が制定された。

2 石神さんは、戦後の指導者について調べ、次のカード1・カード2を作成した。

カード1

写真

リー＝クアンユーは、1923年9月にシンガポールで生まれた人物です。1949年にイギリスの大学を卒業した彼は、1955年に議員に初当選し、1959年にはシンガポールの初代首相に就任して1990年まで務めました。その間、アメリカ合衆国や日本などから外国資本を導入し、強力なリーダーシップを發揮して経済成長を図るなど、国家の発展に尽力しました。
(c)

カード2

写真

1918年にアレクサンドリアに生まれた **B** は、1952年にエジプト革命を成功させて、副首相に就任しました。1956年、正式に大統領に就任した彼は、アラブ諸国の団結を訴え、**C**。これに反発したイギリス・フランスなどとの間に第2次中東戦争が勃発しましたが、エジプトはこれを戦い抜いて、国家の威信を高めることに成功しました。

問4 下線部分強力なリーダーシップを發揮して経済成長を図るに関連して、軍部や少数の政治エリートが強権によって国家建設を行おうとする、このような政治手法をあらわした語句を、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **29**。

- | | |
|--------|--------|
| ① 開発独裁 | ② 海禁政策 |
| ③ 正統主義 | ④ 武断政治 |

問 5 B に当てはまる人物と、C に当てはまる文との組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 30 。

(B)

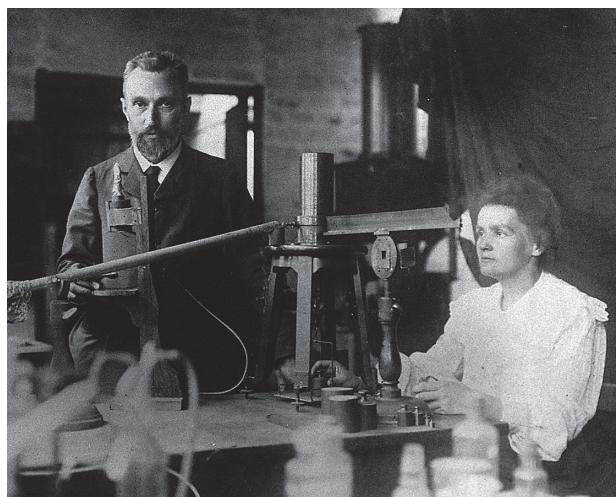
	B	C
①	ムスタファ＝ケマル	スエズ運河の国有化を宣言しました
②	ムスタファ＝ケマル	プラハの春とよばれる自由化路線を推し進めました
③	ナセル	スエズ運河の国有化を宣言しました
④	ナセル	プラハの春とよばれる自由化路線を推し進めました

7

次の文章と図版に関連して、問1～問2に答えよ。

ウランは、自然界に存在する鉱物である。酸化したウランは黄色や緑の発色をするため、ローマ時代からガラスの着色剤に使われていた。19世紀前半には、ガラスにウランを混ぜるウランガラスがつくられるようになった。当時、ヨーロッパでウランを産出していたのは、オーストリア領のボヘミアのヨアヒムスタル鉱山(現チェコのヤーヒモフ)であった。19世紀末にラジウムを発見したキュリー夫妻は、研究の際にヨアヒムスタル鉱山から採掘されたウランを利用していた。20世紀には、ウランの原子核に中性子をぶつけると核分裂反応がおきることが発見された。核分裂の際には、大量の熱エネルギーが放出され、そのエネルギーは原子爆弾や原子力発電に利用される。核分裂反応の発見は、核エネルギー利用のための道を開いたといえる。

絵



研究室のキュリー夫妻

16世紀のヨアヒムスタル鉱山での採掘のようす

問1 下線部分オーストリアについて述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 31 。

- ① ワルシャワ条約機構に加盟した。
- ② 自主管理労働組合「連帶」が結成された。
- ③ リヴィングストンの探検によって、内陸部のようすが明らかとなった。
- ④ ハプスブルク家が統治していた。

問 2 下線部分原子爆弾や原子力発電について述べた次の(ア)・(イ)の正誤を判断し、その組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **32**。

(ア) ソ連で、チェルノブイリ原子力発電所の事故がおこった。

(イ) 部分的核実験停止条約の結果、核兵器は全て廃棄された。

(B)

① (ア)一正 (イ)一正

② (ア)一正 (イ)一誤

③ (ア)一誤 (イ)一正

④ (ア)一誤 (イ)一誤

